

# #アンプ de GO!!

with

# Marshall

第12回

season2

沖聡次郎 [Novelbright]



“アンプでギターを鳴らす大切さ”を伝えるべく、毎月連載している『#アンプ de GO!!』。シーズン2の第12回目は、前回と同じくNovelbrightの沖聡次郎に登場してもらった！GiGS公式Twitterにアップされているセッティング動画も含め、今度は聡次郎によるNovelbrightサウンドを是非体感してもらいたい!!

Text / KAZUKI KONDO [GiGS] Photo / KEIJU TAKENAKA [ARTIST PHOTO STUDIO / <https://www.artist-photo-studio.com>]  
製品のお問合わせ先 / ヤマハミュージックジャパン [<http://www.marshallamps.jp>]

## 弾き手の胸がアツくなる感じは 実際にアンプを鳴らさないと出ない

「この小さなアンプで“どんな感じに音が鳴るんだろう”と思っていたんですけど、パワーもあるし歪むし、音量を上げていったときにマーシャル特有のカリッという部分とミッドが噛み付く感じがリアルに出ている。だから、狙ってレコーディングで使ってみても面白くなるかもしれないし、使いやすいと思います。

僕は“真空管鳴らしてなんぼじゃ”みたいなタイプなんです。今ってエフェクターとかをスイッチャーでシステム化させたりして、便利に作り込んだ音が現場でもすぐに再現できる。でも、その日の調子によって音が変わったり、シールド1本で音色がコロコロ変わっていく面白さってあるじゃないですか。そういうところはロマンを感じますね。それとライブとかでは、空気を通してマイクに乗るエア感であったり、熱くなった真空管の音をキャビで鳴らして届け

ていて、その感じがデジタルでもすごく再現できているんですけど、弾き手にしか分からないこの胸がアツくなる感じは、実際にアンプを鳴らさないと出ないっていうのがあります。

ギターを弾くってことはステージに立ったり、人に聴いてもらうことが大前提じゃないですか。やっぱりアンプで鳴らさないとギターのニュアンスや細かいタッチっていうのは出ないので、どんなときも練習でアンプに繋ぐのは大切なことですね」(聡次郎)



▲聡次郎がMG10でお薦めるセッティングはこちら。「やっぱりマーシャルなのでゲイン感が欲しいなと思ったのと、自分はハムバッカーのギターだからこのくらい歪ませてもカッコいい音になるのかなと。コンツアーはトーンとして使っていて、マーシャルはこもらせてボーンって鳴らすよりもジャキッとした音で鳴らすと、もともとアンプが持っているローの成分やカッコ良さが出る。そこのバランスがいい感じになったのかなと思います」(聡次郎)



## 聡次郎のサインが入ったMarshall MG10を1名様にプレゼント!

応募方法

- ①GiGSのTwitter【@GiGS\_Official】をフォロー。
- ②YamahaのK-ONB(けいおん部)【@yamaha\_k\_onb】かMarshall Japan【@Marshall\_Japan】のいずれかをフォロー。
- ③本特集と連動したアーティスト試奏動画ツイートをRTするだけ!

※締切は4月27日24時まで! 当選者はDMにてご連絡いたします。ドシドシ応募ください!!

